



立憲民主党 代表  
京都府第3区 衆議院議員

泉ケンタ

現8／48歳

党代表として、地元京都の皆様のご支援に心から感謝申しあげます。  
教育子育て予算倍増・再エネ省エネの促進、金融政策の正常化、下請け非正規も含めての賃上げ、物価上昇に負けない年金制度、  
そして綱領、基本政策、ビジョン2023…。立憲民主党は、皆様にご覧いただける対案を用意しています。さらにこの度、党所属自治体議員は「立憲ボトムアップビジョン2023」を策定しました。多様性を認めあう社会、居場所と出番のある社会、安心して暮らせる社会の実現を目指して参ります。

立憲ボトムアップ  
ビジョン2023は  
こちらから!▶



# 立憲が動かす

京都の皆様には、日頃より立憲民主党の活動にご支援を頂き、ありがとうございます。「政治はやる人によって必ず変わる」「私が政治家として大切にしている思いです。京都の仲間は、皆様が感じる『こんな地域なら安心』、『ここが不安』という声に応えるため、地方自治の現場にその声を届けます。例えば、物価高、中小企業（インボイス導入・ゼロゼロ融資関連等）、行財政改革、介護人材難、子育て、障がい者の課題、LGBTQ…。これからも、国、京都府、そして各自治体で連携して地域の課題に取り組んで参ります。



立憲民主党京都府連会長  
参議院議員

福山哲郎

現5／61歳



# 京都府議選は あなたの一票を 立憲民主党 の候補者へ

The Constitutional  
Democratic Party of Japan



京都府第6区  
衆議院議員

やまのい和則

現8／61歳

防衛費増は賛成だが、防衛増税や防衛費倍増は問題です。限られた予算を物価高対策、子ども予算、商店、中小企業、農業、医療現場の支援、保育士、幼稚園教諭、介護・障がい福祉職員の待遇改善に使うべきです。

# もっと良い府政へ

物価高、防衛費増税など暮らしに直結する問題に対峙し、これからも生活者目線で皆様に寄り添い、人口減少など山積する課題にしっかりと取り組んで参ります。



京都府第5区  
総支部長

山本わか子

前1／54歳



2023年 京都府議会議員選挙  
投票日は4月9日(日)



投票日前日まで、毎日  
期日前投票もできます。



# 京都府政版ボトムアップビジョン 2023

立憲民主党京都府連は、今後の京都府政で取り組んでいく政策として以下の「京都府版ボトムアップビジョン2023」をとりまとめています。

## 変える。 子ども・ 若者

### 安心の子育て、夢の 実現を応援 する京都へ



出会い、結婚から妊娠、出産、子育て、保育、教育、就労に至るまでの切れ目のない支援を更に拡充し、保育・教育にかかる様々な負担軽減を行い、家庭の経済力に左右されず、誰もが夢にチャレンジできる京都に取り組みます。

## 変える。 地域経済 ・労働

### もっと元気な 京都へ



物価高騰に負けない賃上げをめざし、ブラック企業の排除、ワークライフバランスの確立、働きやすい環境の実現と、障がい者の賃金アップ、雇用拡大に取り組みます。疲弊する中小企業を支え、スタートアップ企業をはじめ新たな事業創出にも取り組みます。京都の各エリアごとの魅力発信を強化し、京都全体への観光客誘致を図り、各地域での公共交通を確保し、もっと元気な京都に取り組みます。

## 変える。 福祉・医療 ・介護

### 健康で笑顔 あふれる 京都へ



子どもの医療費の負担軽減を図り、府内すべての市町村で高校卒業までの医療費の無償化をめざします。子育て、介護、障がい、ヤングケアラー、医療的ケア児、生活困窮など、分野を越えて、社会全体で支える仕組みづくりに取り組み、住民の暮らしに希望が持てる福祉・医療・介護を目指します。エッセンシャルワーカーの待遇改善と人材確保、障がいのあるないにかかわらず、共に学び育つインクルーシブ保育・教育に取り組み、健康で笑顔あふれる京都をめざします。

## 変える。 ジェンダー 平等

### みんなが輝く 京都へ



あらゆる政策にジェンダー平等の視野を取り入れると共に、パートナーシップ制度、ファミリーシップ制度の導入、性暴力の根絶、あらゆるハラスメントの根絶に取り組みます。また困難な問題を抱える女性への支援体制を確立し、誰もが輝く京都に取り組みます。

## 変える。 農林水産 ・環境

### 食と環境を守る 京都へ



有機農業の拡大を推進し、環境や生物多様性に配慮した農業支援策を進めます。有機野菜、国産農畜産物の学校給食への活用に取り組み、「食の安全保障」を進めます。農業・漁業・林業の収入安定に取り組み、次代の担い手確保のため、新たな人材育成にも取り組みます。再エネ活用を更に進め、資源の循環活用など、環境に配慮した京都の実現に取り組みます。

## 変える。 議会改革・ 地方自治

### 住民の生活を守る行財政 改革を進め、 議会のチェック 機能を高めます。



住民みなさんの声、子ども、若者、女性、障がいのある人、LGBTQの方など、多様な意見を聴き、政策を議会から、府・市町村の行政に反映させます。また、「身を切るだけ」では、住民の負担増、サービスの削減になってしまいます。そうならないよう、縦割り行政の打破、業務見直しを進める等、バランスをとった行財政改革・議会改革を強力に進めます。住民と行政と議会の信頼関係を高め、それぞれの地域のことは地域自らで決める、京都のことは京都で決める取り組みを更に進めます。